■韓国：第6次電力需給計画を策定

知識経済部（MOKE）は2013年1月31日、将来の電力需要の拡大を受けて、国内の発電設備容量を現在の約8,000万kWから2027年に1億1,000万kWにすることを骨子にした「第6次電力需給計画」（2012～2027年）を策定したと発表した。2027年までに石炭火力1,074万kW、LNG火力506万kW、再エネ456万kW、原発や揚水発電所など計964万kWを開発、供給予備率を22%程度にするとされている。同部の関係者は「25日に発足する新政権の原子力政策が半明次第、計画を見直す」とコメントしている。